

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	基幹管路更新事業		
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者(課長)	三原 克美	評価責任者(部長)	久村 信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的(対象)	耐震性能を持たない、口径450mm以上の基幹配水管	事業の目的(意図)	老朽化した基幹管配水管(口径φ450mm以上)の更新を行い、耐震化率の向上を図る。
事業の内容(手段)	楠本浄水場北東部の基幹管路と布設済の配水本管への接続工事を行い、老朽化した既設配水本管を廃止する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	17.6	19.6
基幹管路耐震化率		基幹管路の総延長に占める耐震管の割合	%	実績値	20.5	21.9	
				達成度(%)	116.5%	111.6%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	395,162	26,028	21,759	0
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	384,050	18,964		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円				施設整備基本計画を策定し、更新管路の見直しを行った。	施設整備基本計画を策定し、更新管路の見直しを行った。
	正職員人件費	千円	11,848	8,060			
	人工数	人	1.60	1.10	0.50		
	支出コスト	千円	決) 395,898	決) 27,023			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	耐震性能を持たない基幹管路を更新することにより、主要なライフラインの機能強化が図られた。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 対象の管口径が大きいことから周辺地域への協議と安全対策に時間を要す。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	計画的な事業の実施により、耐震化率の向上を今後も図る。国は基幹管路の良好な地盤に布設したダクタイル鋳鉄管のK形継手等は耐震適合管として評価しており、平成34年度末までに耐震適合率を50%以上とする目標を掲げており、周南市の平成26年度末の基幹管路の耐震適合率は、69.2%である。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、計画的な事業進捗を図ること。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) 水道施設の配置や規模の見直しを行う施設最適化や、施設の長寿命化を検討して費用の抑制を図り、適切な施設の再構築や耐震化、更新を行うための「周南市水道事業施設整備基本計画」を策定し、これを基に計画の見直しを行った。 19,000千円減額	備考
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	基幹配水管更新事業	老朽化した基幹配水管の布設替えを行い、約1.0%の耐震化率向上を図ります。	楠本浄水場系の基幹管路の布設済配水管口径φ500への接続工事として約10m布設します。	21,759 否	0.50		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	幹線管路更新事業			
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者 (課長)	三原 克美	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	配水管として管網をなしている管路で、 主要な幹線を形成している管路	事業の目的 (意図)	基幹管路に続く主要な幹線管路の一連の耐震化を図り、災害時にも供給可能な管路の構築を目指す。
事業の内容 (手段)	菊川浄水場系から一の井手浄水場への送水管の布設を行う。 楠本浄水場系の幹線管路をダウンサイジングして耐震管への布設替を行う。 管路の整備方針として、配水の upstream から downstream へ更新を進める。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	17.0	18.5	20.0
					実績値	17.7	19.1	
					達成度(%)	104.1%	103.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	53,028	183,492	144,819	164,916	192,839
(予算額)	うち一財	千円					
直接事業費	千円	0	167,871		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円					
正職員人件費	千円	11,848	8,792		施設整備基本計画を策定し、更新管路の見直しを行った。	年次計画により、更新管路延長が異なるため。	
人工数	人	1.60	1.20	0.50			
支出コスト	千円	決) 11,848	決) 176,664				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	耐震管へ布設替えを行うことで、主要な配水管網を形成する管路の機能強化が図られている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 管路の経年化や老朽化、重要度など総合的に判断し更新管路を選定する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	幹線管路は、基幹管路に次ぐ主要な配水管としての重要性から、耐震化の早急な促進に向けた管路更新の取り組みが求められている。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、計画的な事業進捗を図ること。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
「周南市水道事業施設整備基本計画」を基に計画の見直しを行い基幹管路更新事業を延期し、幹線管路の更新延長を延ばした。 33,516千円 増額	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	幹線配水管更新事業	基幹管路から主要な幹線を形成している管路について、耐震管へ布設替えを行います。	楠本浄水場系の幹線管路をダウンサイジングして更新する。また、北山から一の井手浄水場までの送水管を前年度に続いて布設する。	144,819 否	0.80		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	重要給水施設管路更新事業			
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者 (課長)	三原 克美	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	災害時の重要給水施設に供給する配水管	事業の目的 (意図)	災害時の重要給水施設に供給する管路の布設替えを行い耐震化を図る。
事業の内容 (手段)	災害時の重要給水施設である周陽小学校及び太華中学校へ給水する配水管の布設替えを行い、耐震化を図る。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	17.0	18.5
	管路耐震化率	管路の総延長に占める耐震管 延長の割合	%	実績値	17.7	19.1	
				達成度(%)	104.1%	103.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	17,380	28,728	46,764	14,040
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	17,604	27,675		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円				年次計画により、更新 管路延長が異なるため。	年次計画により、更新 管路延長が異なるため。
	正職員人件費	千円	8,516	5,862			
	人工数	人	1.15	0.80	0.70		
	支出コスト	千円	決) 26,120	決) 33,537			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	災害時に拠点となる病院、福祉避難所、指定避難所及び給水拠点の合計29箇所と、市役所へ給水する管路の耐震化を計画的に進めている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 配水池から重要給水拠点までの管路耐震化が求められているが、配水池から離れた重要給水施設までの一連の管路耐震化には期間を要す。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	厚生労働省から、重要給水施設までの管路耐震化の促進に向けた水道事業者の取り組みが求められている。		評価責任者コメント	災害時に拠点となる病院、福祉避難所、指定避難所、給水拠点及び市役所へ給水する管路の耐震化を計画的に進める必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
重要給水施設となる富田東小学校周辺の配水管更新を行う。 70千円増額	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	重要給水施設配水管路更新事業	災害時の重要給水施設に供給する管路の耐震化を図ります。	周陽小学校及び太華中学校へ給水する配水管約746mの布設替えを行い、耐震化を図る。	46,764 否	0.70		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	その他の管路耐震化事業			
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者 (課長)	三原 克美	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	経年化や老朽化した配水管及び漏水発生 の多い管路	事業の目的 (意図)	硬質塩化ビニル管や铸铁管など、老朽化した配水管の布設替えを行い安 定給水を図る。
事業の内容 (手段)	漏水発生が多い硬質塩化ビニル管や老朽化した铸铁管などを対象とし、基本として口径φ100mm以下は配水用ポリエチレン管、口径φ 150mm以上はダクタイル铸铁管を使用し、配水管路の耐震化率向上を図る。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	17.0	18.5	20.0
					実績値	17.7	19.1	
					達成度(%)	104.1%	103.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	384,414	279,396	348,793	332,532	496,644
(予算額)	うち一財	千円					
直接事業費	千円	351,808	294,472		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円			年次計画により、更新 管路延長が異なるため。	年次計画により、更新 管路延長が異なるため。	
正職員人件費	千円	45,541	37,368				
人工数	人	6.15	5.10	4.40			
支出コスト	千円	決) 397,349	決) 331,840				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	地震や集中豪雨などの災害時において安定した給水を確保す るため、管路の耐震化を図り、機能強化を高め安定給水が行え る管路を構築していく必要があります。		課題・ 問題点	■ 妥当性    □ 有効性    □ 効率性 毎年の更新延長は、平均で約10Km程度で、耐震化率の改善 は約1.5%であり、全管路の耐震化には長期の期間を要す。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	財政の健全化を考慮しながら、限られた建設改良費の予算の 中で事業を実施することとなるが、計画的な管路の耐震化を実 施することにより安定給水を確保する。		評価 責任者 コメント	人口減少が進む中、限られた予算(身の丈に合った対応となら ざるを得ない)の中、長期的スパンで考えざるを得ない。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
年度ごとに更新管路延長が異なることによる減額。 103,309千円減額	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	その他の配水管更新事業	硬質塩化ビニル管や铸铁管な ど、老朽化した配水管の布設 替えを行います。	約7,700m配水管の布設及び布設替えを 行い、管路の耐震化率の向上を図る。	348,793 否	4.40		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	漏水防止対策事業			
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者 (課長)	三原 克美	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	徳山地区及び新南陽地区の給配水管	事業の目的 (意図)	漏水防止により安定給水を確認し、給配水管の漏水を早期に発見し修繕を行うことにより、有収率の向上を図る。
事業の内容 (手段)	配水管の中で約40%を占めるビニル管路と、口径40mm以上の連合給水管の路面音聴及び量水器までの戸別音聴を実施することにより、漏水を発見する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
有収率		配水量に対して料金収入の あった水量の比率 (有収水量/配水量)	%		89.4	89.8	90.2
					90.3	91.7	
					101.0%	102.1%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	10,601	13,992	12,928	14,278	13,013
	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円	10,050	9,612		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円				年度毎に調査対象 区域が異なるため。	年度毎に調査対象 区域が異なるため。
	正職員人件費	千円	18,142	17,585			
	人工数	人	2.45	2.40	1.90		
	支出コスト	千円	決) 28,192	決) 27,197			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	配水管漏水の大半を占めているビニル管について、計画的に 布設替えを行っているため、漏水件数は減少傾向にある。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 漏水調査により有収率は改善しているが、調査後新たに発生 する漏水の復元により有収率の改善率が限られ、対費用効果が 低い。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	有収率の向上は水道事業において継続的な課題である。無効 水量減少に向けた取り組みとしての漏水調査事業は、実施の 方法や調査区域の選定を精査し、今後も継続して行う事業である。		評価 責任者 コメント	事務事業の方向性のとおり、進める必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
個別の漏水調査を行う範囲の給水戸数等による増減。 326千円増額	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	漏水調査	硬質塩化ビニル管を対象とし、 約143Kmの路面音聴調査を実施し、有収率0.4%の向上	徳山西地区及び新南陽西地区の硬質塩 化ビニル管の漏水調査し0.4%の有収率 の向上を目指す。	1,298 可	1.90		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	給配水管維持管理事業			
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者 (課長)	三原 克美	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	公道上の給配水管及び付属設備、宅地内における量水器までの給水装置、水道工務課所管の配水施設、個人の給水装置(業者紹介のみ)	事業の目的 (意図)	漏水発生による有効水量の低下及び、断水・道路陥没等の二次災害を防止するため早急に修理対応を行う。また配水設備の修繕を行うことにより安定した供給に努める。個人所有部分の給水装置修繕についても業者を紹介することにより、迅速な修理対応を行い市民サービスの向上を図る。
事業の内容 (手段)	徳山地区・新南陽地区それぞれ1者と契約し、24時間の修繕体制を確立する。修繕業務が発生した場合は速やかに業務を履行する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	65,760	66,965	67,201	67,432	68,205
(予算額)	うち一財	千円					
直接事業費	千円	58,811	58,788		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円				29年度実績を基に計上	
正職員人件費	千円	38,506	35,902				
人工数	人	5.20	4.90	4.60			
支出コスト	千円	決) 97,317	決) 94,691				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	配水管については、管路耐震化事業により老朽管の更新、漏水多発管路の布設替を行っているため、修繕業務発生件数は減少傾向にある。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 修繕業務の待機や修繕業務を委託する相手が、現状では管工事協同組合に限られるが、将来的には業務の委託先を再検討していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	給配水管の維持管理における修繕体制の確立は、市民への安定給水から不可欠であり、今後も継続的に必要な事業である。	評価責任者コメント	徳山地区・新南陽地区の24時間体制の維持は重要であり、管工事組合との定期的な意見交換等を行なうなど、良好な関係を継続する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成29年度実績を基に委託費を精査した。 773千円減額	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	修繕業務委託(待機)	緊急的な漏水及び修繕に対し迅速に対応するため、24時間体制で人員を確保する。	徳山地区・新南陽地区それぞれ1者と契約し、修繕業務に備えた。	24,277	可	1.00	
②	修繕業務委託	緊急的な漏水及び修繕に対し迅速に対応する。	徳山地区・新南陽地区それぞれ1者と契約し、修繕業務に備えた。	42,924	可	3.60	
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	マッピングシステム更新事業			
担当部・課名	上下水道局水道工務課	評価者 (課長)	三原 克美	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	配水管の布設及び布設替え工事に関する各種データ、給水装置工事申込みに基づく竣工図及び給水台帳、開発団地の地形等各データの取り込み。	事業の目的 (意図)	・定期的にデータの更新を行うことにより、正確な情報に基づく適切な給配水管の維持管理が可能となる。 ・他の地下埋設占用户に対し正確な情報提供を行い、工事による破損事故防止に努める。
事業の内容 (手段)	マッピングシステムの運用にあたっては、データの更新を正確に継続的に行うことが大切である。このため、職員で可能な給水台帳のファイリングデータの更新を除き、配水管のデータ更新は業務委託により行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	1,534	1,611	1,730	1,815	1,762
(予算額)	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円	1,512	1,512		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	13,699	13,921		簡水統合により鹿野・熊毛地区のデータ量が増加したため	
	人工数	人	1.85	1.90	2.10		
	支出コスト	千円	決) 15,211	決) 15,433			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	マッピングシステムのデータ更新を継続的に行うことにより、管路の耐震化率や経年化率など各種統計値を、迅速に把握することが可能となった。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 業者により更新された布設替等のデータ確認精査を各工事担当者が実施し、正確な情報が反映されたか情報管理が必要である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 業者のデータ入力の実績性が不足しており、その都度確認作業と修正を必要とする。 29年度より鹿野・熊毛地区の管路についても情報管理していくが、現状では精度不足によりデータの正確性に欠ける。
	事務事業の方向性	マッピングシステムのデータ更新は、正確な情報管理と資産管理のため、継続的に行う事業である。	評価責任者コメント	マッピングシステムの運用にあたっては、データの更新を正確に継続的に行うことが大切であり、維持管理等を含めた生命線である。より正確なデータベースとなるよう取組む必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
人権費等による増額。 53千円増額	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	給配水管情報管理事業	正確な情報管理を行い、給配水管の適切な維持管理や窓口業務の迅速化を図ります。	給配水管の新規および布設替データや属性データ・管網解析データの更新、漏水修理履歴情報等の入力を行う。	1,730 可	2.10		
②							
③							
④							
⑤							